

# 官農 Information

## 秋・冬野菜の栽培管理に向けて

秋・冬野菜の植え付け前までの栽培管理について紹介します。

### ダイコン

#### 土づくり、耕起について

ダイコン栽培において、土づくりと深く耕すことはとても重要なことです。発芽してダイコンが真っ直ぐに地中へ伸びる時に、先端の生長点が土の塊や肥料に当たったり、乾燥などで傷むと(図1)のように又が開けた根になります。又が開けた根にしないために、深く耕して、土や堆肥を細かくし、また、土の中の石を取り除きましょう。



図1 又になったダイコン  
土や肥料の塊が根の生長  
点を傷めると発生する。

種まきをする1ヶ月前には、堆肥(バーク堆肥等)を1a(100m<sup>2</sup>)あたり200kg、苦土石灰15kg、大阪北部工場有機3号を15kg(図2)にし、排水性を良くし、ましょ。

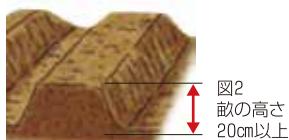


図2 敷の高さ  
20cm以上

#### 肥培管理について

#### 肥培管理について



図3 ポット苗で育苗

種は3~4粒播種しましよう。  
経過したら、屋外で育苗し、風や夜露にさらして丈夫な苗にしましょう。



図4 セルトレイと地面との間に空間を作る

1aあたり、堆肥を200kg、苦土石灰を10kg、燐酸安14号を15kg施してよく土にまじませましょう。

#### 播種・育苗について

### キヤベツ

8月中旬頃に播種をしましよう。ポットで育苗する場合は、培土を入れて、直径3cm、深さ1cm程度の穴を空けて、3から4粒播種(図3)をしましよう。灌水はポットの底から染み出る程度までしましよう。セルトレイで育苗する場合は、種まき専用の培土を使用し、トレイの中央部に1粒播種をしましよう。灌水はできるだけ午前中に行い、日暮れの頃には乾く程度にしましよう。(灌水量が多いと、ひょうひょうの苗にな多すぎると、ひょうひょうの苗になる原因になります。)また、セルトレイと地面との間に空間(図4)を作つて、排水性と通気性を良くしましよう。また、種まき後10日から2週間経過したら、屋外で育苗し、風や夜露にさらして丈夫な苗にしましょう。

防除作業期に、フェニックスフロアブルを400倍に希釀したものを噴霧機等を使用して、栗の樹全体に散布しましよう。また、同時に実炭そ病の予防で、ベンレート水和剤を2000から3000倍になるように混用しましよう。

8月中旬から下旬にかけて、栗の害虫であるモモガマダラノメイガ幼虫が化します。幼虫になると栗の実を食害します。幼虫が化する時に、フェニックスフロアブルを噴霧機等を使用して、栗の樹全体に散布しましよう。

## 栗の病害虫防除について



実炭そ病  
(色が黒褐色変、果肉が黒褐色に腐敗する。)



モモガマダラノメイガ幼虫



防除作業

出穂5~7日後に薬剤散布をしましよう。(カメムシが糞を吸汁し、玄米が斑点米になるのを防止するため。)

## 水稻カメムシ類の防除方法について

	<b>トレボン粉剤D-L</b>	<b>●●散布量 3~4 kg / 10 a</b>	
	<b>スタークリ粉剤D-L</b>	<b>●●散布量 3 kg / 10 a</b>	
	<b>スタークリ粒剤D-L</b>	<b>●●散布量 3 kg / 10 a</b>	
	<b>スタークリ豆つぶ</b>	<b>●●散布量 0.5kg / 10 a</b>	
		<b>●●使用時期 収穫7日前まで / 3回以内</b>	
粉剤は飛散するので、散布の時は、風の強さ、散布機の操作方法等を確認しましょう。また住宅が密集している地域では使わないようにしましょう。			

\* 発生が多い場合は、出穂10~14日後に追加散布しましょう。



▲カメムシに吸汁されて、  
斑点米になった玄米



▶稻穂全体のうち、6割程度  
の穂が傾いてきた時期が  
薬剤散布の適期です。



# 中古農機のご紹介!

お譲りしますコーナー

組合員の皆様の倉庫などに眠っている中古農機を、JA大阪北部が新たに必要とされている組合員にご紹介いたします。

## 高機能で使いやすい! 静音タイプの小型乾燥機! こだわりのお米の自家乾燥におすすめです。

【出品者より】

小型乾燥機ですが持ち出しには解体・組立が必要となります。引取・解体についてはご相談ください。



品名	乾燥機
メーカー名	ヤンマー株式会社
型式	YCD-9K2 9石
使用時間	5年
仕様	粉処理量200~900kg 燃料タンク付属 1500×1400×1900mm 単相200V
譲渡価格	300,000円(引取りのみ)価格交渉可能
状態	良好、取扱説明書あり



譲渡対象者/JA大阪北部管内の組合員

◆取次方法/必要な方は営農生活部営農課までご連絡ください。

**TEL.072-748-1701 FAX.072-751-2669**



前回までの広報誌でご紹介した中古農機具は必要とされている方に譲渡できました。

2016年6月号からの紹介数  
(田植え機、乾燥機、コンバインなど)

21台

成約数

16台

成約率

76%

ご協力ありがとうございました。



- ①名称  
(トラクター・管理機等)
- ②メーカー名・型式
- ③年式・馬力数
- ④住所
- ⑤氏名
- ⑥電話番号

切手	563-0013
JA 大阪 北部	営農 生活 部
宛部	池田市中川原町331-1

中古農機具が倉庫で眠つていて使う予定の無い方の情報をお待ちしています。各購買店舗にご連絡いただか、ハガキに左記の内容を明記の上、営農生活部営農課まで送付して下さい。  
※電話、FAXでも受付いたします。

**農機具  
情報募集!!  
「譲ります」**

**【営農生活部営農課】 TEL.072-748-1701 FAX.072-751-2669**